

今こそ5万円前後の高価値・高性能コーティングを柱に

アフターケアの完備によって必ず勝てる



プロの洗車をもっともつと世の中へ

明らかに、顧客の「手洗い洗車」目的が変わってきて、手洗い洗車からコーティングへのエスカレーターが減ってきた

5年前には、「超撥水」を謳った「撥水手洗い洗車」が手洗い洗車全体の70%近くを占めていた。しかし近年、カーディーラーが新車販売時に「長寿命コーティング」を併売するようになり、その施工比率が50%を越すようになってきた。「コーティング」の後は水洗いだけで済む「水洗い洗車」が主流になり、「水洗い洗車」利用のお客様が30%台にまで激減してきている。

高付加価値なコーティングビジネスを、今こそ手に入れるべき

高付加価値なコーティングビジネスが新車コーティングに移ってきている。現在、手洗い洗車を基点にしているエスカレーター戦略だけではジリ貧になりかねない。4、7万円の高価格・高付加価値、高効率な高性能コーティングのビジネスを、今こそ我々の収益の一つの軸に据えるべきだと考える。

アフターケアの完備したコーティングで我々は勝てる

1 コーティングは、一般

消費者に広く認知された商品になった。しかし、新車コーティングの普及によって、一般消費者のコーティングに対する意識が普遍的になってきていることは、我々にとっても大きなチャンスである。これは何れも繰り返して述べたことである。

SSならではのアフターメンテナンスの完備したコーティングを実現し、お客様の欲求に即応でき、きれいなまま乗っていただくためのKeepreを提案する

「シリコンアルコキシオリゴマー」という低分子量化合物に感応基を持った反応タイプコーティングがある。空気中で反応して硬化すると8Hの硬度を持つ強固な被膜である。これはほぼ無機物質で出来ており、紫外線などで劣化するおぼやかりなく、高い硬度による擦傷に強い。これこそ超長寿命の新しいタイプのコーティングとして広まりつつある。

「ダイアモンドキーパー」もこのタイプに含まれる。理論的には無期限の寿命を持つというイメージの新しいタイプのコーティングである。しかし、現実的には、コーティングが劣化する原因は、コーティングの劣化によるものである。コーティングの劣化は、コーティングの劣化によるものである。コーティングの劣化は、コーティングの劣化によるものである。

「Keepre」Keep Up care 塗装面改善の方向性を持ったお手入れ

8年前に登録となったこの特許がKeepreシステムの基になっている。特許の内容を簡単に解説すると

1 まず塗装上に強い高分子重合体などで出来た被膜を形成する。この被膜を第一被膜とし、その上に比較的柔軟性に富んだ高分子重合体で第二被膜を形成する。強い第一被膜は塗装面を強力に保護する役割を持ち、その上の第二被膜は「犠牲被膜」の役割を持つ。

2 「犠牲被膜」である第二被膜は、日光に含まれている紫外線の攻撃や、走行中の

3 このことによって、塗装面の保護の役割を持つ第一被膜の損傷は極端に少なくなり、塗装の保護能力が十分に発揮される。

4 表面が汚れ、荒れた第二被膜を高分子重合体被膜形成剤と微粒子クリーナーなどでから成る第二被膜形成剤で摩擦しながら被膜形成作業を行うことで、第二被膜表面の一部が入れ替わり、表面の汚れなどが除去され、新たな被膜構造物を形成することで荒れ、傷ついた第二被膜表面を復元することが出来る。



5 このことによって、塗装を守り保護する役割を持った

6 また、第一被膜が何れも繰り返し形成されることにより、元々塗装にあった凹凸が平滑化されていく現象が、平滑化によって塗装面の「艶」が向上する。

この一連の仕組みによって、次の効果が期待できる。

「メンテナンクス性を持ったコーティング」を実現し、Keepre(クリスタルを含む)、ハイブリッド・ダイヤモンドキーパー、そしてアクアキーパーは、広く一般ユーザーが望んでいるものであり、これによって我々には勝てる条件が揃ったことを確認したい。



ナノの世界 Akakeeperの皮膜

キーパータイムズ 6月16日 71号

発行所 アイ・タック技研株式会社

住所: 愛知県大府市吉川町4-17
電話 0562-45-5258
FAX 0562-45-5268

ホームページ <http://www.sensya.com>
札幌 仙台 東京 相模原 名古屋 大阪 広島 福岡

発行部数18,000枚
製作社 有限会社 GMKワークス
無断コピー・複製を禁ず
ご質問・ご意見・お問い合わせは
キーパー 検索
又は 0120-517-158 まで

キーパーのメカニズム

- 1 初回施工**
初めての施工で、ある程度の塗装面にある程度の被膜が形成される。
- 2 6週間後(繰り返し施工推奨)**
排気ガスによる油成分の汚れや埃による汚れが付着して被膜表面が劣化している。
- 3 繰り返し施工直後**
繰り返し施工により表面の劣化した被膜を磨き落とし、新たな被膜を重ねることにより強度が増す。
- 4 定期的に繰り返し施工を行った被膜**
一定期間で繰り返し施工を行うことにより厚みが増え、より強い被膜が形成され、より長い寿命が期待できる。

新ポリマー犠牲被膜形成のハイブリッド効果で、ヘアラインを感せず

新ポリマー犠牲被膜をハイブリッド構造で施工することによって、傷の埃を丸くしてヘアラインを認識させなくすることが出来る。ポリマー被膜をダイヤモンドキーパーの上に覆うことで、ボディガラスコーティングの二つ目の弱点を克服できるようになる。

現在、鋭意テスト中の犠牲被膜新ポリマーは、ダイヤモンドキーパーに負けないほどの撥水力を持ち、半年以上の高い被膜寿命を持つものである。発売予定8月1日。

繰り返すコーティング「キーパーコーティング」と「ハイブリッド型ダイヤモンドキーパー」の施工のしやすさ、お客様の満足度を考え、なかなか捨てがたいコーティングであり、快洗隊直営店においては全店が導入し、ダイヤモンドキーパーに匹敵する実績を上げている。

「アクアキーパー」は、ボディガラスコーティングの弱点を根源的に克服している優れたコーティングであることを確認する。アクアキーパーはボディガラスコーティングの一種である。しかし、前述のアルコキシシランを使ったものでは、非常に特殊なセラミック上に水を通すことにより、ナノレベルのガラス粒子を水の中に含ませ、ボディの塗装に付着ることによって、分子的

「アクアキーパー」は、ボディガラスコーティングの弱点を根源的に克服している優れたコーティングであることを確認する。アクアキーパーはボディガラスコーティングの一種である。しかし、前述のアルコキシシランを使ったものでは、非常に特殊なセラミック上に水を通すことにより、ナノレベルのガラス粒子を水の中に含ませ、ボディの塗装に付着ることによって、分子的

「メンテナンクス性を持ったコーティング」を実現し、Keepre(クリスタルを含む)、ハイブリッド・ダイヤモンドキーパー、そしてアクアキーパーは、広く一般ユーザーが望んでいるものであり、これによって我々には勝てる条件が揃ったことを確認したい。

「メンテナンクス性を持ったコーティング」を実現し、Keepre(クリスタルを含む)、ハイブリッド・ダイヤモンドキーパー、そしてアクアキーパーは、広く一般ユーザーが望んでいるものであり、これによって我々には勝てる条件が揃ったことを確認したい。